



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

令和2年度 第二回学校関係者評価委員会

令和2年11月30日（月）



— 本日の予定 —

全体会：

午後1時30分～

午後3時30分

分野別分科会：

午後3時30分～

午後4時30分

本日のスケジュール



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

< 全体会 13:30～15:30 >

- 校長挨拶
- 議長選出
- 令和2年度 前期実績報告
 新型コロナウイルス感染症禍対応
 令和2年度 教育重点項目(中間報告)
- 評価シート記入
- 意見交換・質疑応答

< 分野別分科会 15:30～16:30 >



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

校長挨拶

船山 世界



令和2年度前期取組みについて 中間報告 評価・ご意見 記入方法

2. 令和2年度 教育重点項目 前期実績報告

評価結果	十分	不十分
------	----	-----

コメント欄



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

議長選出

令和2年度 教育重点項目 前期実績報告



教育部署長(校長、副校長、キャリアセンター長、クリエイター教育部長、エンジニア教育部長) ⁸



報告内容

1. 新型コロナウイルス感染症禍対応
2. 令和2年度 教育重点項目（中間報告）
 - ① 「建学の精神」の実現に向けた「教育の質の保証・向上」
 - ② EM・IRによる組織的學生指導体制の充実
 - ③ 學生主導で社会人基礎力を養うキャリア教育の充実
 - ④ クリエイター教育
 - ⑤ エンジニア教育



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

1. 新型コロナウイルス感染症禍対応

校長 船山 世界



学校法人 電子学園

日本電子専門学校



感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

① 手洗いの前に、爪は短く切っておきましょう。指先や指輪は外しておきましょう。

② 流水でよく手をぬらした後、石けんをつき、手のひらをよくこすります。

③ 指先、爪の間を念入りにこすります。

④ 指の間を洗います。

⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう

マスクを着用する (口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用

① 鼻と口の両方を確実に覆う ② ゴムひもを耳にかける ③ 隙間がないよう鼻まで覆う

何もせずに咳やくしゃみをする 咳やくしゃみを手でおさえる

首相官邸

厚生労働省

■ 詳しい情報はこちら

令和2年度前期 新型コロナウイルス 感染症禍対応



令和2年度前期 コロナ禍対応

- 政府緊急事態宣言＋東京都休業要請対応
 - － 休校(4/8～5/31)
 - － 教職員の時短勤務・在宅勤務
 - － 休校中のオンライン学習支援
 - － 入学式中止(4/12)
- 経済的支援
 - － 緊急学修支援金 全学生に一律3万円支給
 - － 高等教育の学費無償化制度 対象校確認
- 学事日程変更
 - － 前期授業開始 夜間部:6/9 昼間部:6/12 (約2ヵ月遅れ)
 - － 夏季休暇＋祝祭日(一部除く) 授業運用
 - － 後期授業開始 10/15 (約2週間遅れ)
- オンライン授業の運用
 - － 講義科目オンライン、実習科目対面のハイブリッド運用
 - － フェイスシールド全学生配布
 - － 校舎・教室の感染予防対策
 - － オンライン用PC、ポケットwifi貸与(wifiは8月末日まで)



令和2年度前期 コロナ禍対応

- 各種行事の対応策
 - 入学式 ⇒ H・RにてVODウェルカムメッセージ(6/10)
 - 新入生保護者会 ⇒ オンライン開催(VOD形式)
 - 保護者会 ⇒ オンライン(VOD全体会+ZOOM個人面談)
 - オープンキャンパス&体験入学+オンライン説明会
 - スポーツフェスティバル ⇒ 中止(7/13)
 - 第1回合同企業説明会(7/27) ⇒ NSビル開催、感染防止ガイドライン(招待企業限定、アクリルボード)
 - 第2回合同企業説明会(9/1) ⇒ エンジニア:NSビル開催、クリエイター:オンライン開催
 - 第3回合同企業説明会(10/14) ⇒ NSビル開催、AMエンジニア、PMクリエイター(作品評価会)
 - 日専祭(10/31-11/1) ⇒ 感染防止ガイドライン(飲食・屋台なし)

コロナ対策



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

●校舎入口 体温センサー





● 実習教室風景



●オンライン授業配信風景



コロナ対策



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

● フリースペース + キャリアセンター



● 第2回合同企業説明会



エンジニア分野(NSビル開催)



クリエイター分野(オンライン開催)

コロナ対策



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

● 第51回日専祭

👉 一斉放送オープニング
(校長・実行委員長・副委員長)





学校法人 電子学園

日本電子専門学校

2.令和2年度 教育重点項目 (中間報告)



令和2年度 教育重点項目

NEXT10「日本電子専門学校のさらなる伸張」

- ① 「建学の精神」の実現に向けた「教育の質の保証・向上」
- ② EM・IRによる組織的學生指導体制の充実
- ③ 学生主導で社会人基礎力を養うキャリア教育の充実
- ④ 新設学科開発フレームを活用した調査・検討

クリエイター教育の重点項目

- ① 就職内定の早期化

エンジニア教育の重点項目

- ① 教員のスキルアップ



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

①「建学の精神」の実現に向けた 「教育の質の保証・向上」

副校長 杉浦 敦司



学校法人 電子学園

日本電子専門学校



①「建学の精神」の実現に向けた
「教育の質の保証・向上」

ポリシー策定プロジェクト



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

三つのポリシー	内容
ディプロマ・ポリシー	各大学がその教育理念を踏まえ、どのような力を身に付ければ学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。
カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施するのかを定める基本的な方針。
アドミッション・ポリシー	各大学が、当該大学・学部等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、入学者を受け入れるための基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果(学力の3要素※)を示すもの。 ※(1)知識・技能, (2)思考力・判断力, 表現力等の能力, (3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

ポリシー策定プロジェクト



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

年度	策定内容・対象学科
平成28年度	• 教育に付随する三つのポリシー策定及び運用に関する基本方針 (本校独自のガイドライン)
平成29年度	• コンピュータグラフィックス科 ・ゲーム制作科 • 情報処理科 ・情報ビジネスライセンス科
平成30年度	• グラフィックデザイン科 ・CG映像制作科 • ネットワークセキュリティ科 ・ゲーム制作研究科 • 高度情報処理科
平成31-令和元年度	• コンピュータグラフィックス研究科 ・ゲーム企画科 • アニメーション科 ・アニメーション研究科 • 電子応用工学科 ・電気工学科
令和2年度	• Webデザイン科 ・AI システム科 • ケータイ・アプリケーション科 ・情報システム開発科 • 電気工事技術科 ・高度電気工学科

- 令和2年度末に全学科の策定が終了次第、公開予定。
- 三つのポリシーを各学科の入試・カリキュラム・卒業判定に反映させて最初の目標達成
- 以後、PDCAサイクルで不断の見直しを行う予定。

基本理念策定プロジェクト



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

日本電子専門学校 教員の行動指針

1. 組織で仕事をするために

- 笑顔で挨拶をします。
 - 心身ともに健康であるよう体調管理に努めます。
 - 身だしなみに気を配り、身の周りを整理整頓します。
 - 何事にも主体的に取り組み、前向きに行動します。
 - 肯定的な思考を持って人の話に耳を傾けます。
 - 謙虚さと感謝の気持ちを持ち続けます。
-
- TPO(Time, Place, Occasion)をわきまえた組織人を目指します。
 - 公私の区別を明確にして行動します。
 - 報告・連絡・相談を徹底して情報を共有します。
 - 相手を認め、協力し合う人間関係を築き、チームワークを大切にします。
 - 学科目標および個人目標を達成するよう努力します。
 - 本校の基本理念を尊重し、社会の倫理規範に則って行動します。

2. 学生を成長させるために

- いつでも、すべての学生に平等な対応をします。
- 学生のこれまでの歩みを受け入れ、それぞれの学生の視点に立って導きます。
- 学生の成長を一番の喜びと考え、愛情と熱意を持って学生を導きます。

- 専門の知識と技術の指導を通して、自己学習力を養えるように導きます。
- 内発的モチベーションを上げられるように導きます。
- 教育者としての品格を保ち、言動において学生の模範となります。

3. 授業の質向上のために

- 学習目標を明確にします。
- 学習單元ごとの成果と、学習目標の達成度を確認します。
- 学習目標を達成するために、オリジナル教材の開発、授業の準備を行います。
- 学科内でシラバス評価を行うと共に、科目間の連携を確認します。
- 授業内の秩序を保ち、学習に望ましい環境を作ります。
- 授業アンケートの結果を分析し、授業内容の改善を行います。

4. 自分を成長させるために

- 現状に満足せず、新しいことに挑戦し続けます。
- 業界の最新技術を習得する努力を続けます。
- 常に業界の動向に目を向け、時代の変化に対応します。
- 生涯、自己研鑽に努めます。

基本理念策定プロジェクト



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

教員の行動指針 自己診断結果

Average	項目
1 4.57	13. いつでも、すべての学生に平等な対応をします
2 4.56	15. 学生の成長を一番の喜びと考え、愛情と熱意を持って学生を導きます
3 4.53	10. 相手を認め、協力し合う人間関係を築き、チームワークを大切にします
4 4.50	16. 専門の知識と技術の指導を通して、自己学習力を養えるように導きます
5 4.48	9. 報告・連絡・相談を徹底して情報を共有します
6 4.48	12. 本校の基本理念を尊重し、社会の倫理規範に則って行動します
7 4.46	19. 学習目標を明確にします
8 4.46	14. 学生のこれまでの歩みを受け入れ、それぞれの学生の視点に立って導きます
9 4.45	28. 生涯、自己研鑽に努めます
10 4.43	7. TPO (Time, Place, Occasion) をわきまえた組織人を目指します
11 4.41	5. 肯定的な思考を持って人の話に耳を傾けます
12 4.41	6. 謙虚さと感謝の気持ちを持ち続けます
13 4.41	21. 学習目標を達成するために、オリジナル教材の開発、授業の準備を行います
14 4.40	23. 授業内の秩序を保ち、学習に望ましい環境を作ります
15 4.38	25. 現状に満足せず、新しいことに挑戦し続けます
16 4.34	11. 学科目標および個人目標を達成するよう努力します
17 4.32	8. 公私の区別を明確にして行動します
18 4.32	1. 笑顔で挨拶をします
19 4.32	24. 授業アンケートの結果を分析し、授業内容の改善を行います
20 4.30	20. 学習单元ごとの成果と、学習目標の達成度を確認します
21 4.29	27. 常に業界の動向に目を向け、時代の変化に対応します
22 4.29	4. 何事にも主体的に取り組み、前向きに行動します
23 4.27	17. 内発的モチベーションを上げられるように導きます
24 4.24	26. 業界の最新技術を習得する努力を続けます
25 4.15	18. 教育者としての品格を保ち、言動において学生の模範となります
26 4.11	2. 心身ともに健康であるよう体調管理に努めます
27 3.92	3. 身だしなみに気を配り、身の周りを整理整頓します
28 3.91	22. 学科内でシラバス評価を行うと共に、科目間の連携を確認します
4.35	(全体平均)

- 11項目 組織で仕事をするために
- 7項目 学生を成長させるために
- 6項目 授業の質向上のために
- 4項目 自分を成長させるために

- ・実施期間: 令和2年10月8日～10月30日
- ・対象教員93名のうち92名が実施
- ・診断項目数28
- ・実施度レベル 5段階 5(高) ⇒ 1(低)



- ②EM・IRによる組織的學生指導体制の充実
- ③學生主導で社会人基礎力を養うキャリア教育の充実

キャリアセンター長 高橋 陽介



学校法人 電子学園

日本電子専門学校



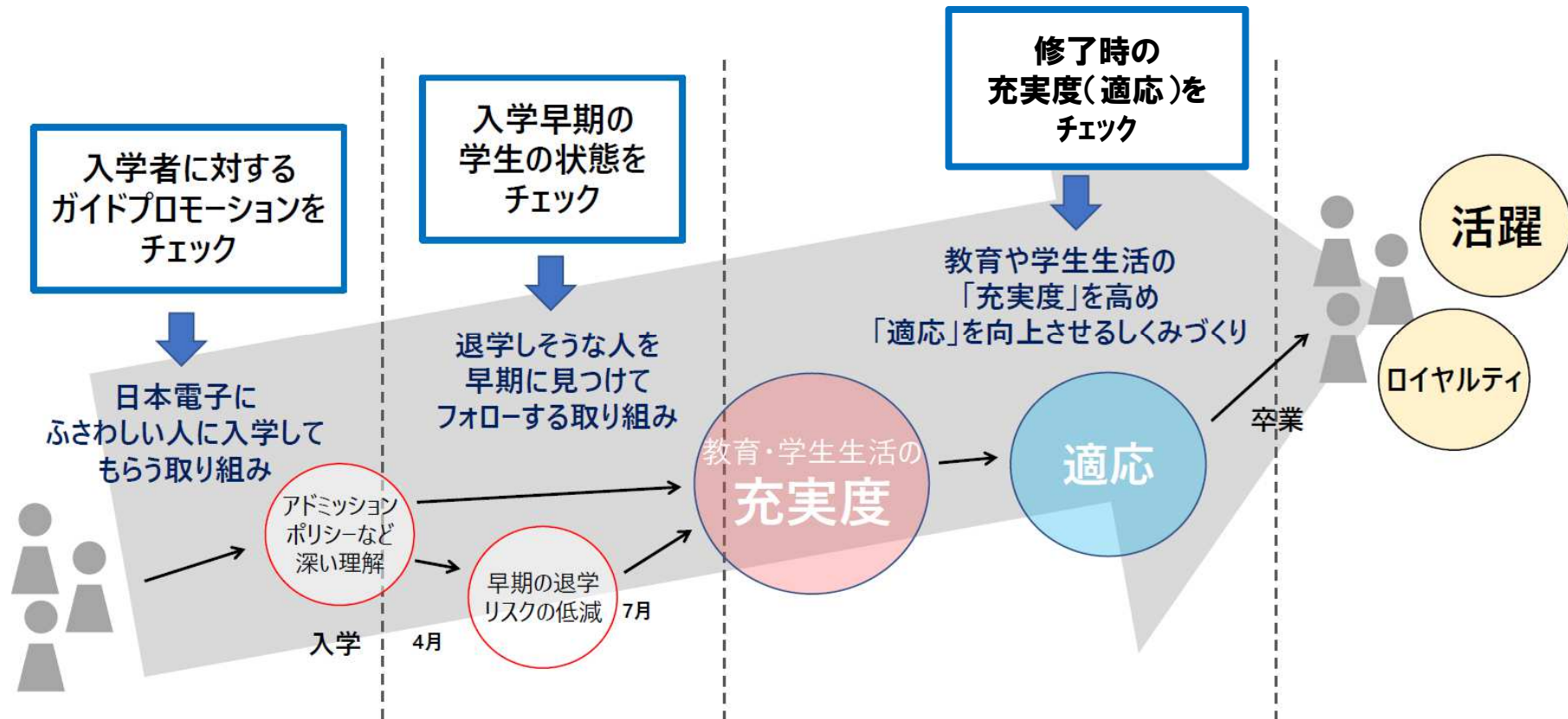
② EM・IRによる組織的學生指導 体制の充実

組織的學生指導



- EM (Enrollment Management)
 - 一人の学生が当該大学に興味を持った瞬間から「志願—合格—入学—在学—卒業—同窓」までを一貫してサポートするマネジメントの考え方。
- IR (Institutional Research)
 - 大学経営(教学を含む)を支える調査・分析機能とそのための組織のこと。
- 分科会のミッション
 - EM・IRによるドロップアウト防止に資する新たな対策の立案。
 - EM・IRの一環として新入生対象アンケートの開発・実施・分析。
 - 学生マイページの企画立案。

・エンロールメントマネジメントの充実





● 学生満足度調査バージョン情報

NO	Version名	実施時期	対象学生数	データ数	回収率	設問数
①	Ver.1	H28.7	1144	1090	95.3%	55
②	Ver.2	H29.6	1316	1260	95.7%	55
③	JEC WEEK①	H30.4	1372	1349	98.3%	30
④	Ver.3	H30.7	1372	1305	95.1%	40
⑤	卒業生①	H31.3	1058	1012	95.7%	127
⑥	JEC WEEK②	H31.4	1416	1400	98.9%	28
⑦	Ver.4	R1.7	1416	1340	95.0%	40
⑧	卒業生②	R2.3	1066	983	92.2%	120
⑨	JEC WEEK③	R2.6	1461	1448	99.1%	65
⑩	Ver.5	R2.8	1421	1398	98.4%	73

令和元年度 卒業生アンケート



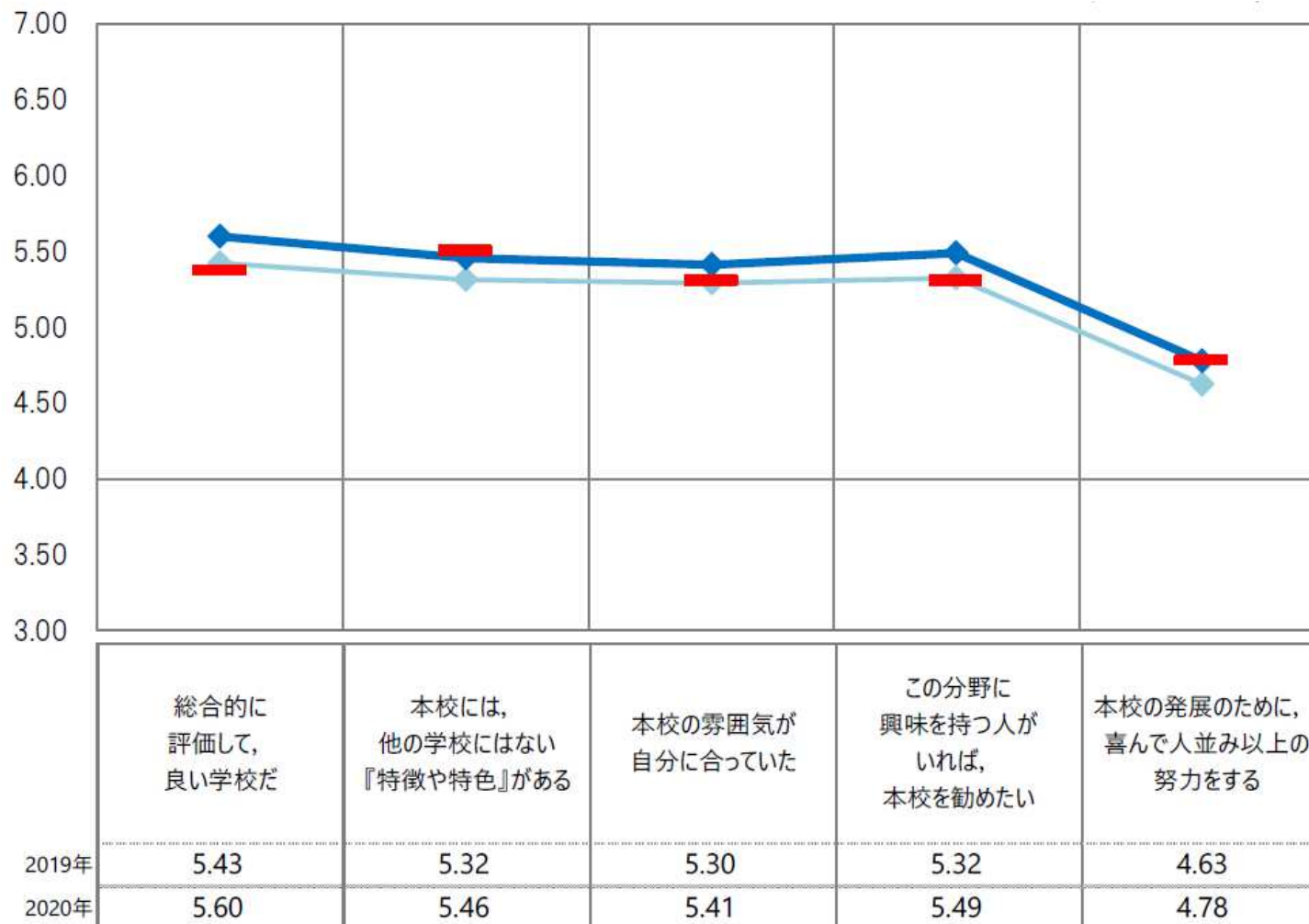
学校法人 電子学園
日本電子専門学校

1-1 総合評価・コミットメント

◆ 令和元年

◆ 令和2年

■ 全国参画校
専門学校生データ



令和元年度 卒業生アンケート



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

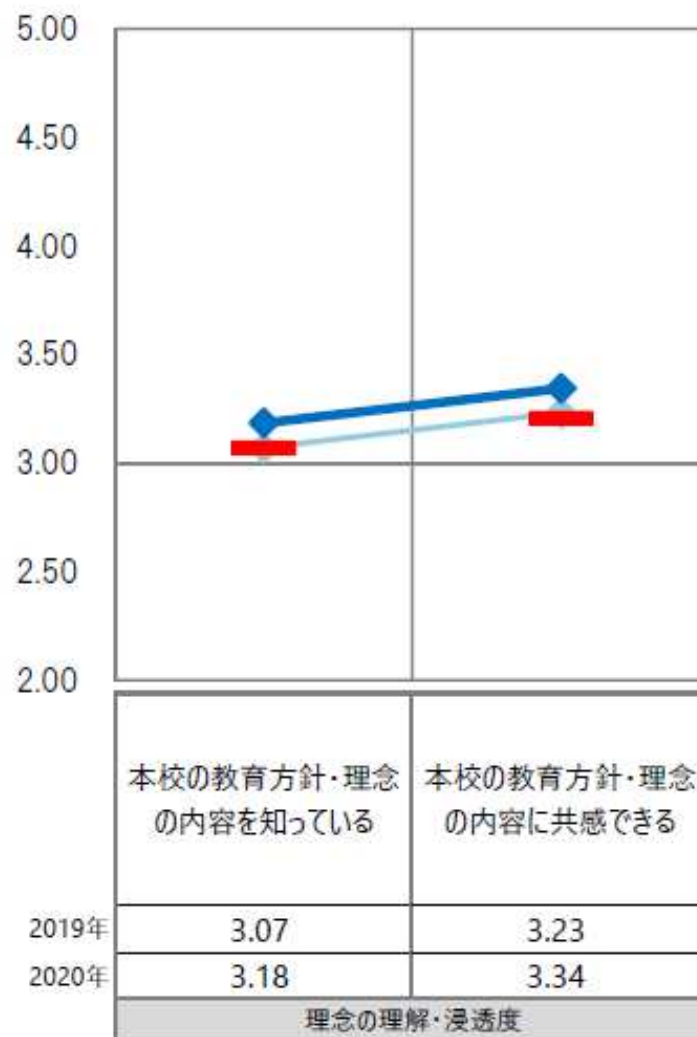
1-2 理念の理解・浸透度

◆ 令和元年

◆ 令和2年



全国参画校
専門学校生データ



令和元年度 卒業生アンケート

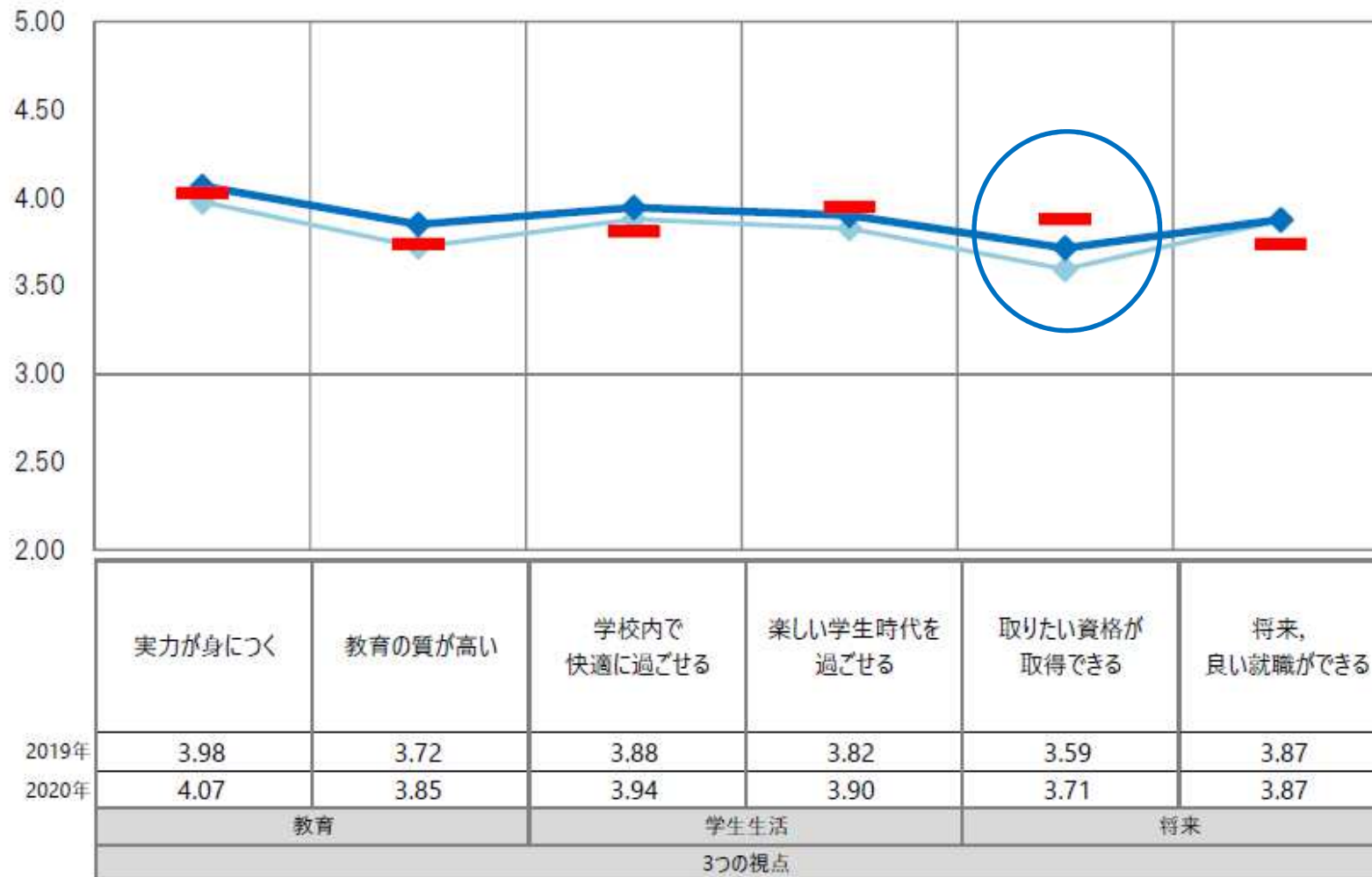


学校法人 電子学園
日本電子専門学校

2-1 学校イメージ(3つの視点)

◆ 令和元年 ◆ 令和2年

■ 全国参画校
専門学校生データ



令和元年度 卒業生アンケート

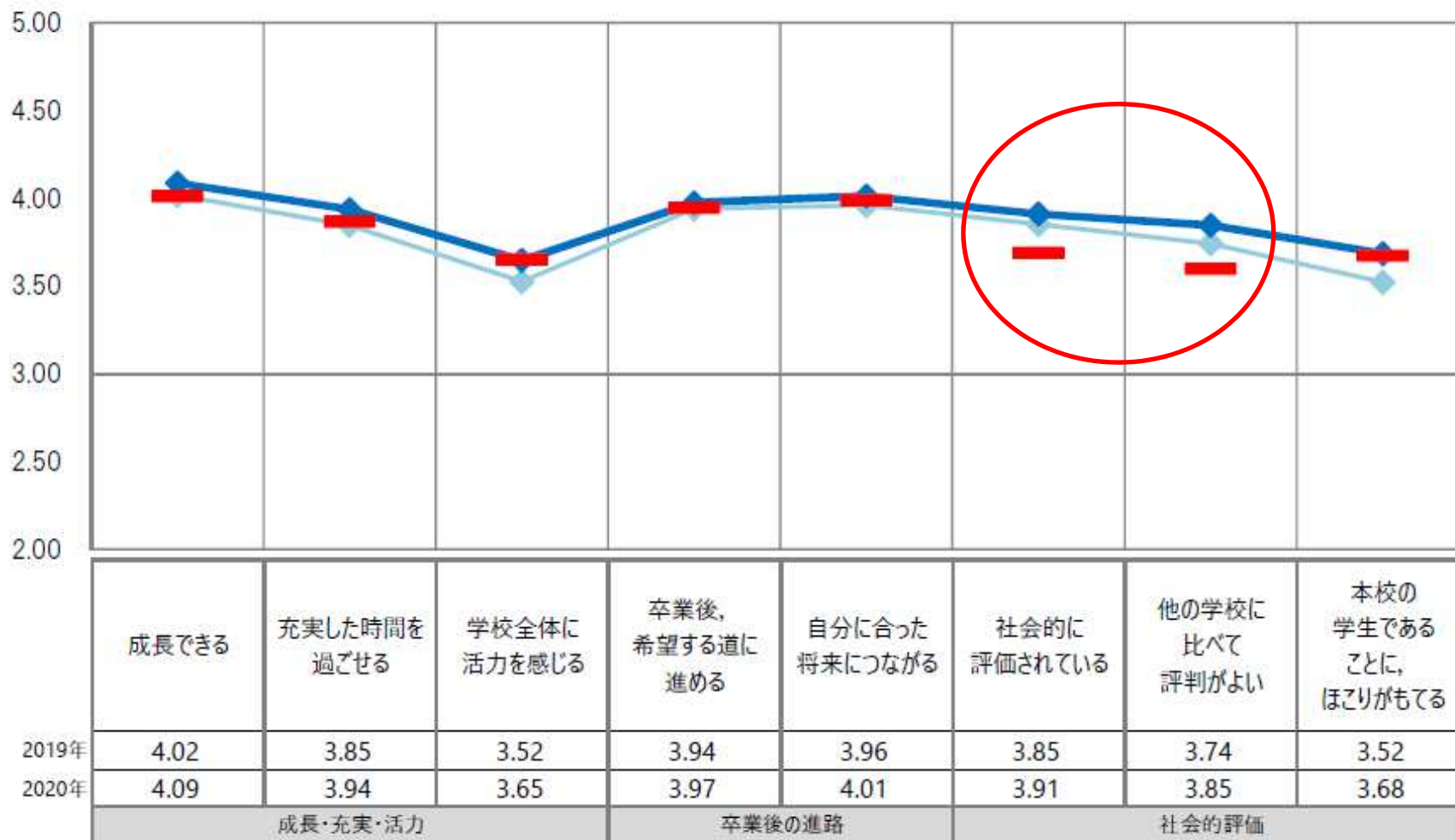


学校法人 電子学園
日本電子専門学校

2-2 学校イメージ

(成長・充実・活力／卒業後の進路／社会的評価)

◆ 令和元年 ◆ 令和2年 ■ 全国参画校
専門学校生データ



成長・充実・活力

卒業後の進路

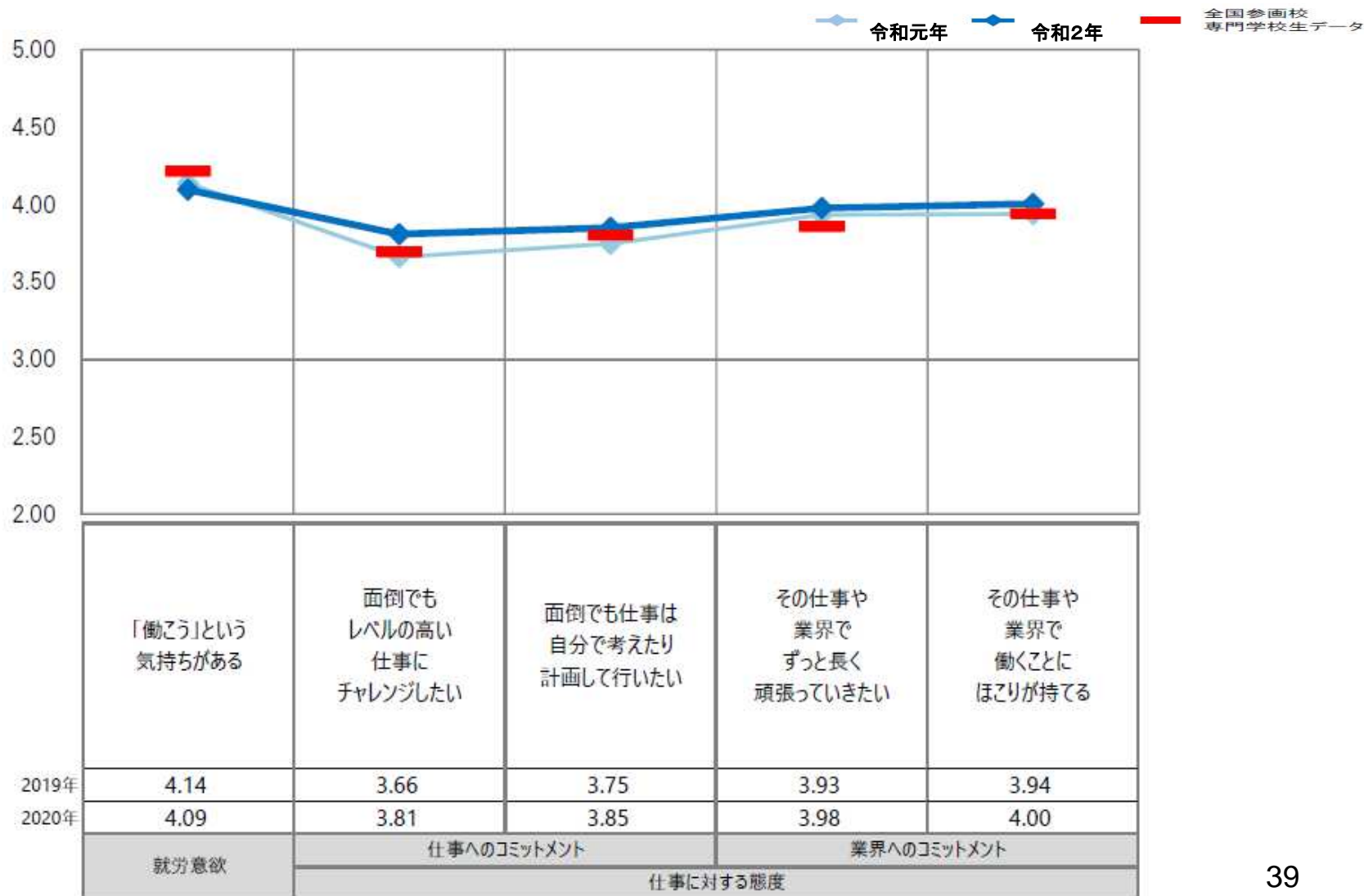
社会的評価

令和元年度 卒業生アンケート



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

4-2 職業意識(勤労意欲/仕事に対する態度)



令和元年度 卒業生アンケート



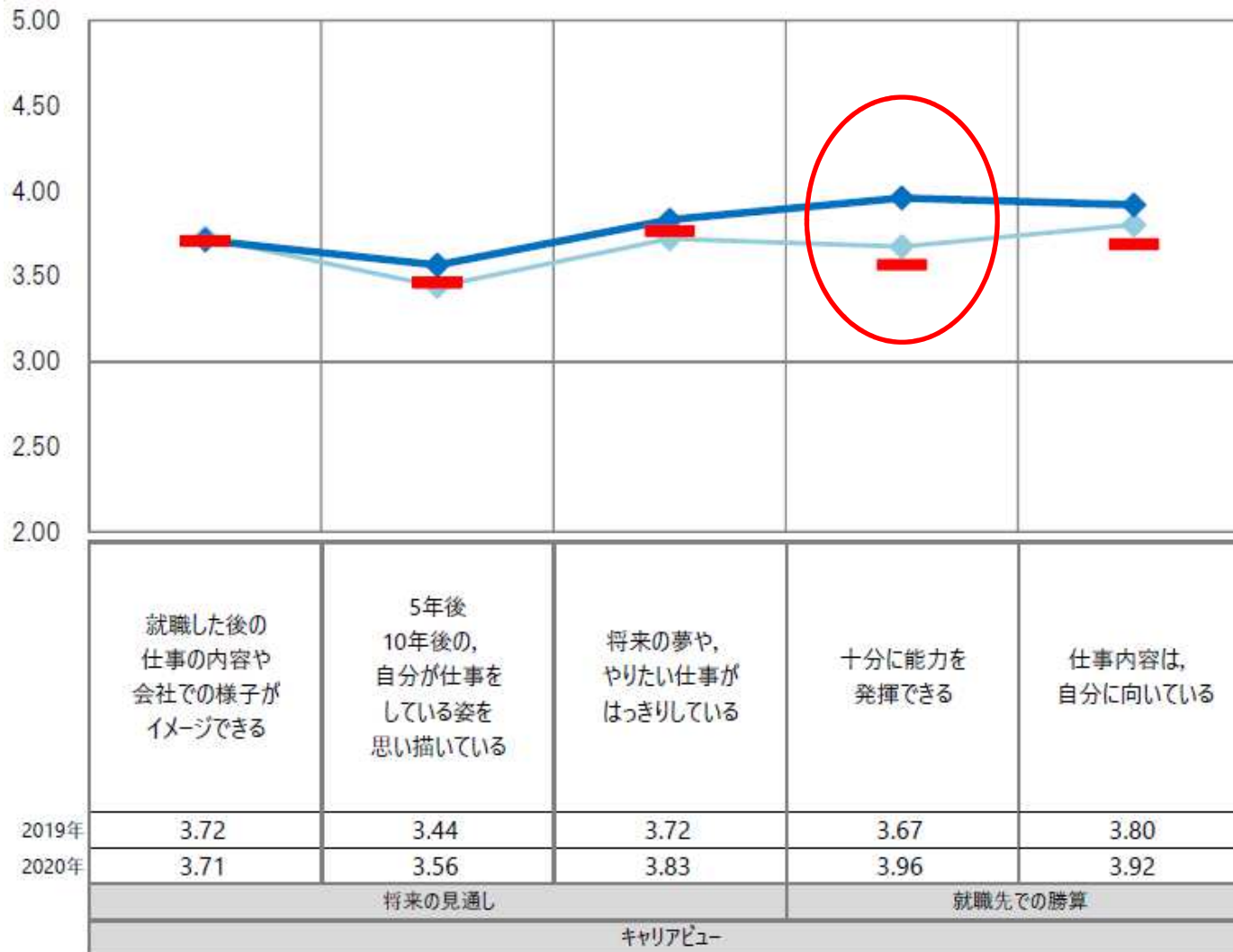
学校法人 電子学園
日本電子専門学校

4-3 職業意識(キャリアビュー)

◆ 令和元年

◆ 令和2年

■ 全国参画校
専門学校生データ



令和元年度 卒業生アンケート

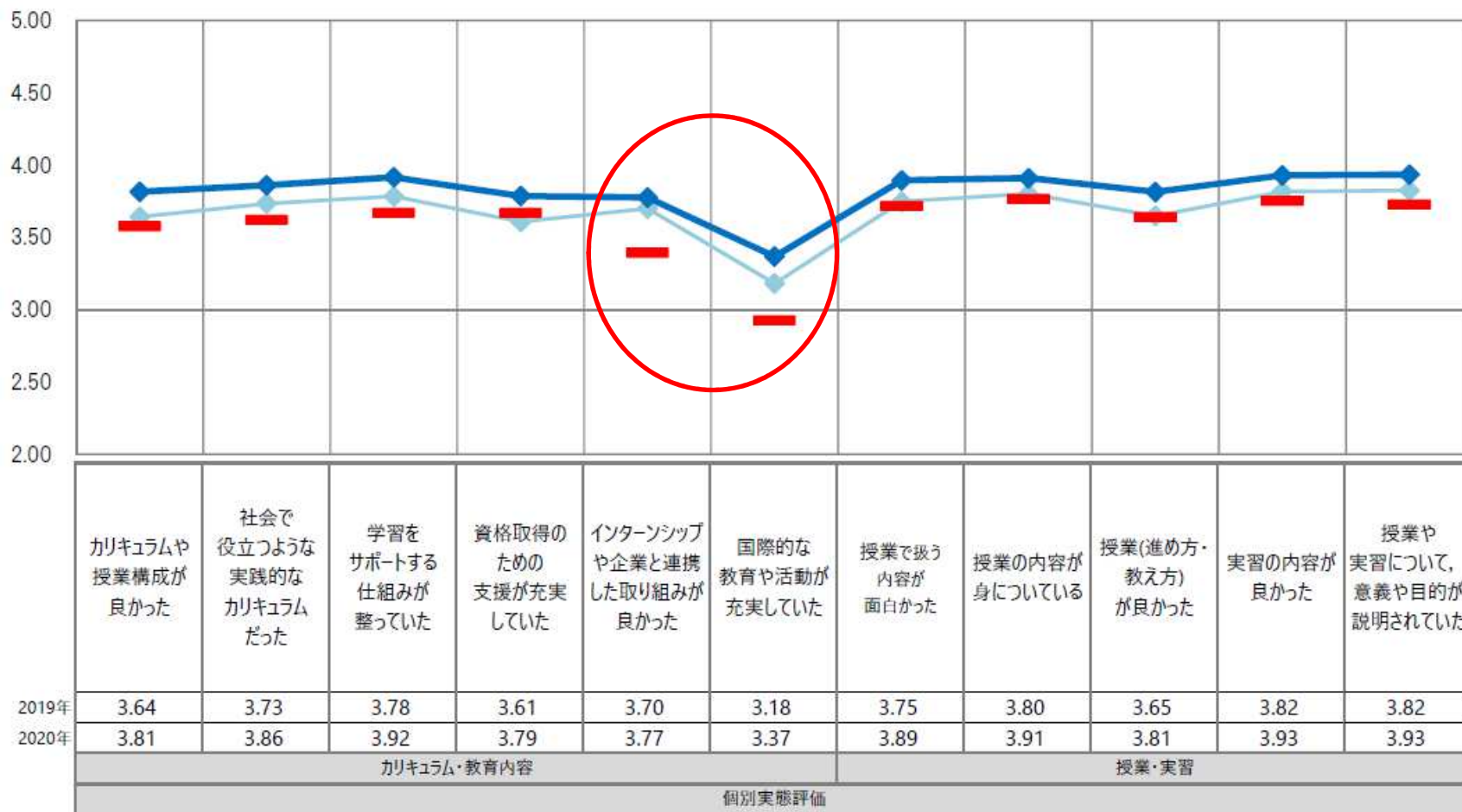


学校法人 電子学園
日本電子専門学校

5-1 個別実施評価

(カリキュラム・教育内容／授業・実習)

◆ 令和元年 ◆ 令和2年 ■ 全国参画校
専門学校生データ



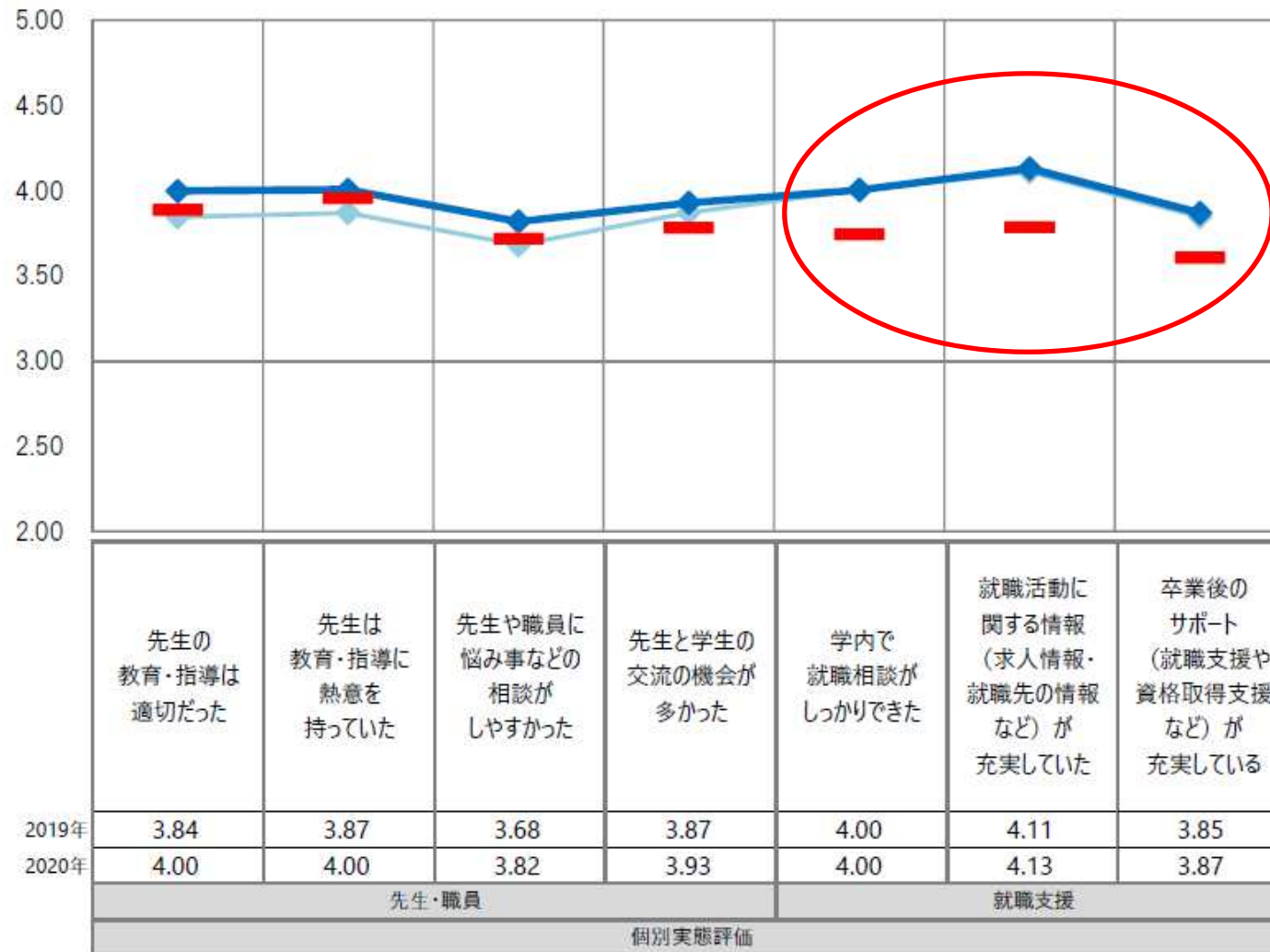
令和元年度 卒業生アンケート



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

5-2 個別実施評価(先生・職員／就職支援)

◆ 令和元年 ◆ 令和2年 ■ 全国参画校
専門学校生データ



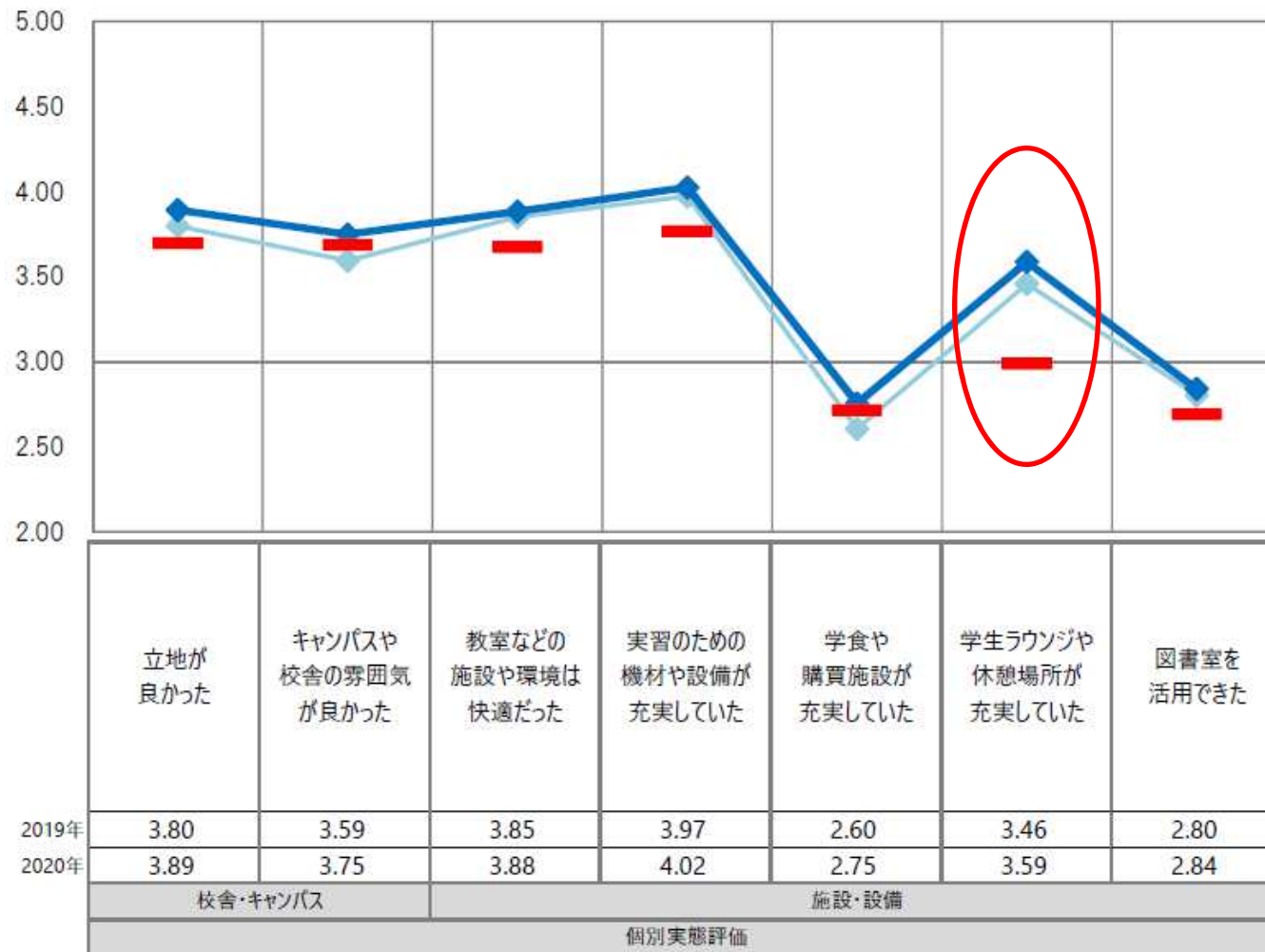
令和元年度 卒業生アンケート



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

5-3 個別実施評価(校舎・キャンパス／施設・設備)

◆ 令和元年 ◆ 令和2年 ■ 全国参画校
専門学校生データ



令和元年度 卒業生アンケート

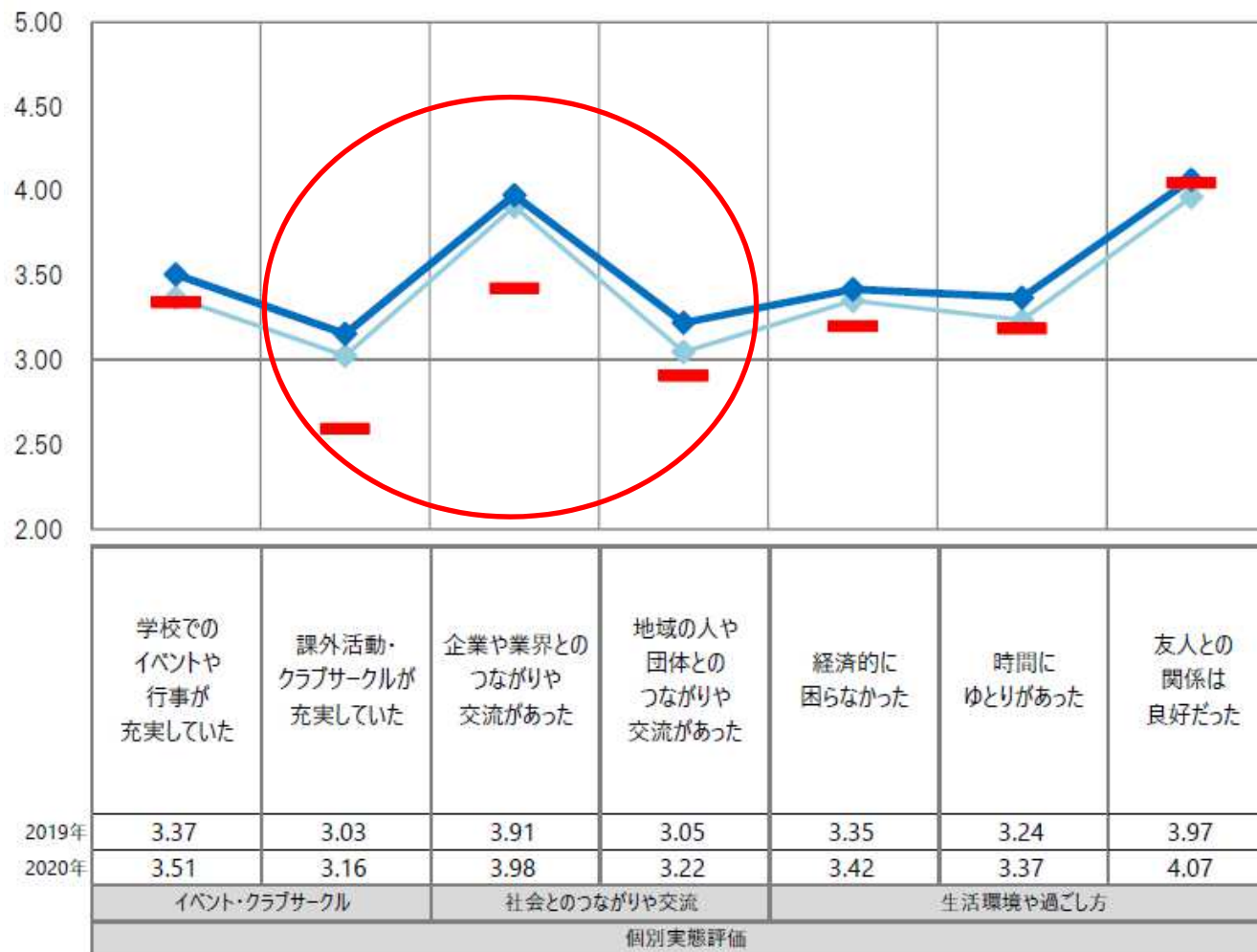


学校法人 電子学園
日本電子専門学校

5-4 個別実施評価

(イベント・クラブサークル／社会とのつながりや交流／生活環境や過ごし方)

◆ 令和元年 ◆ 令和2年 ■ 全国参画校
専門学校生データ



令和元年度 卒業生アンケート



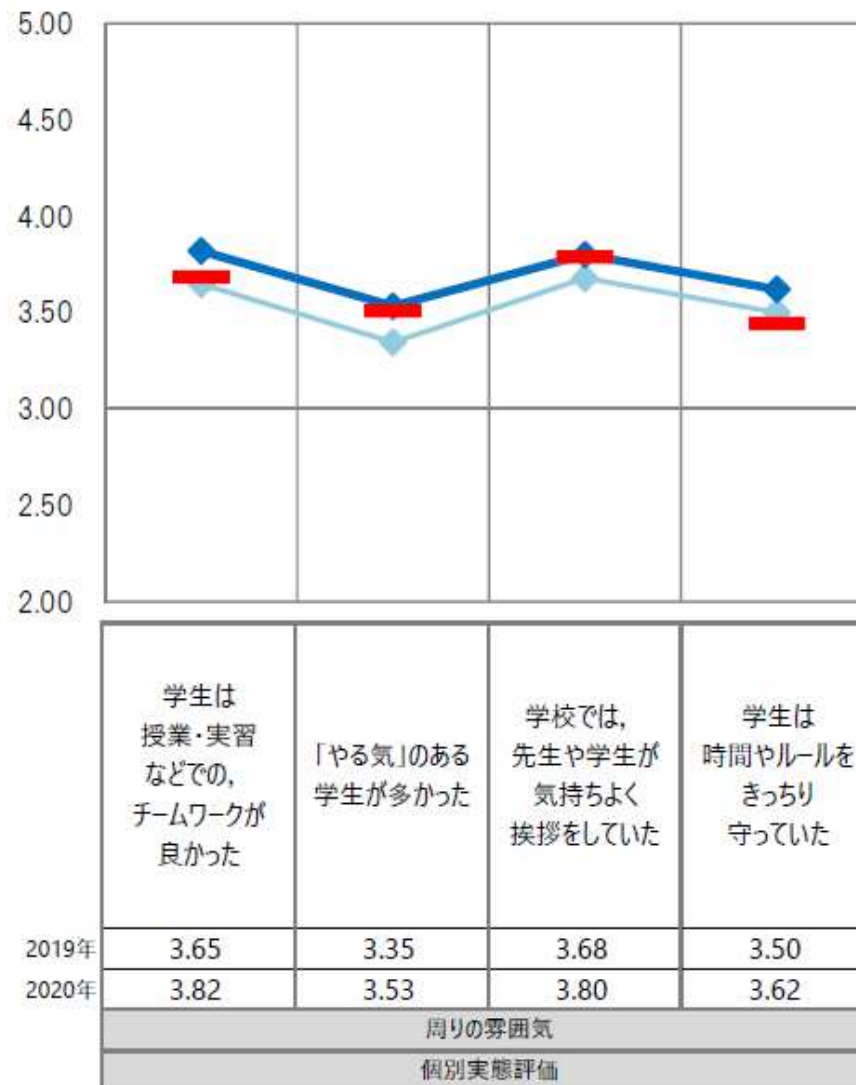
学校法人 電子学園
日本電子専門学校

5-5 個別実施評価(周りの雰囲気)

◆ 令和元年

◆ 令和2年

■ 全国参画校
専門学校生データ



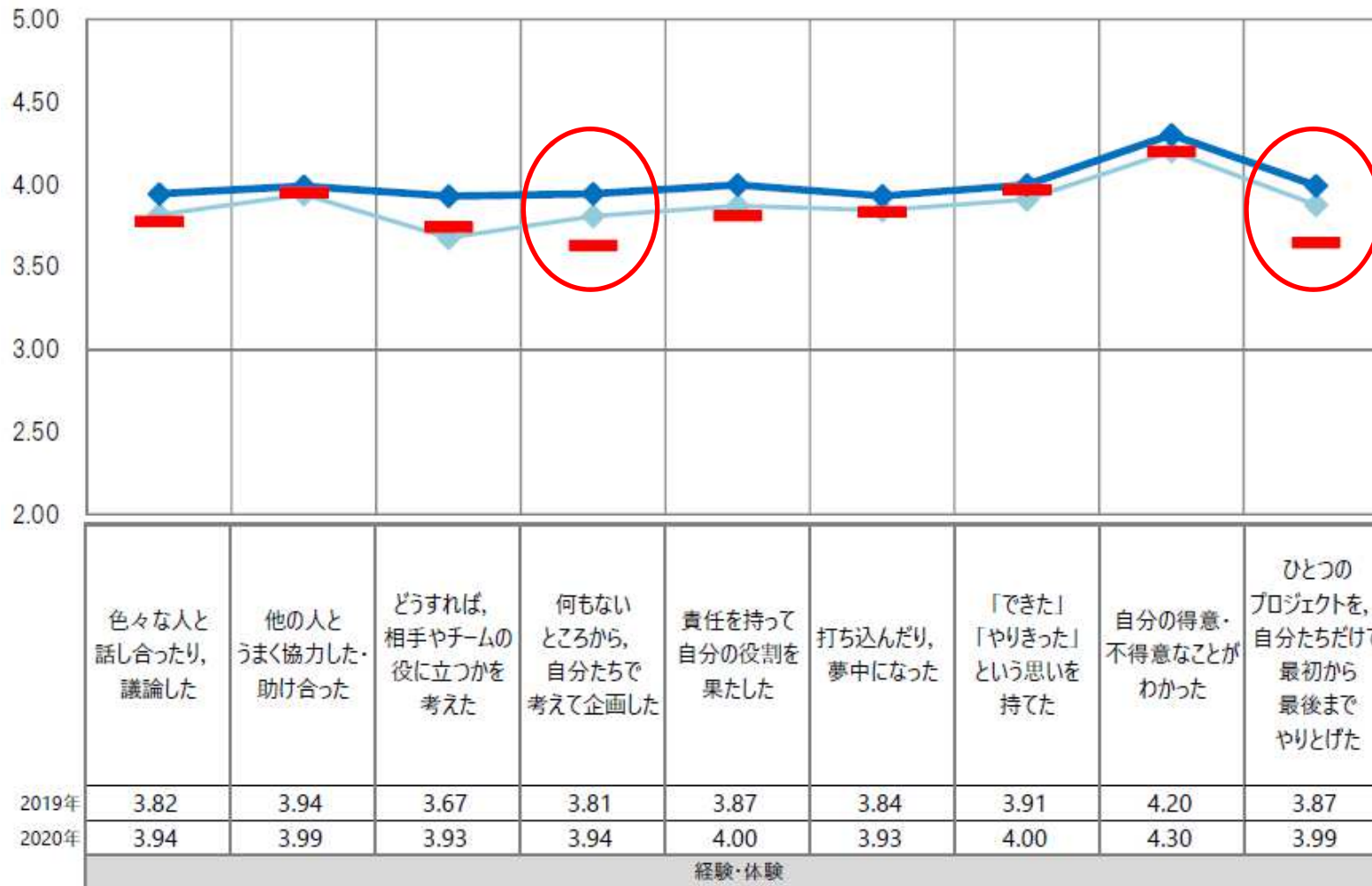
令和元年度 卒業生アンケート



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

6-1 経験・体験

◆ 令和元年 ◆ 令和2年 ■ 全国参画校
専門学校生データ



令和元年度 卒業生アンケート



学校法人 電子学園
日本電子専門学校

7-1 身についたと思うこと

◆ 令和元年 ◆ 令和2年 ■ 全国参画校 専門学校生データ



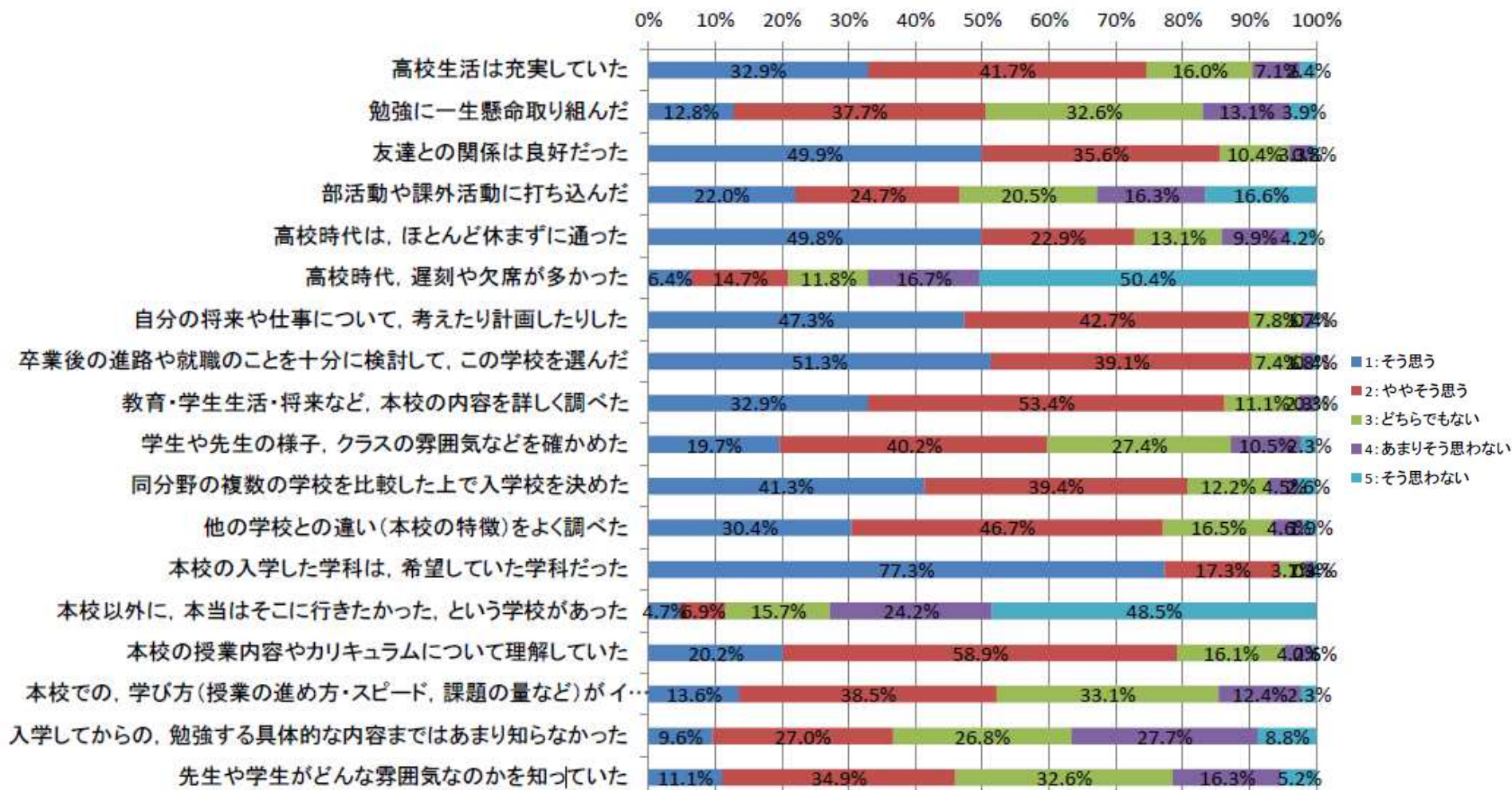
	専門分野の知識や理論	専門分野の技能や感覚	基礎学力 (読み書き・計算など)	言葉づかい など、 社会人 としての マナーやルール	自分の 意見を わかりやすく 他人に 伝える力	他の人や 異なる 意見を 尊重する 姿勢	周囲への 気配りや 気づかい	(卒業後の) 学び方や 学ぶ習慣	現場や 仕事での 手順や 段取り	職業人 としての 姿勢や 考え方	自分で、 適性や 進路を 判断できる力
2019年	4.11	4.09	3.51	3.77	3.68	3.90	3.80	3.82	3.84	3.88	3.88
2020年	4.15	4.15	3.69	3.91	3.83	3.98	4.00	3.90	3.84	3.91	3.93
身についたと思うこと											

令和2年度 新入生対象アンケート(JEC Week)



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

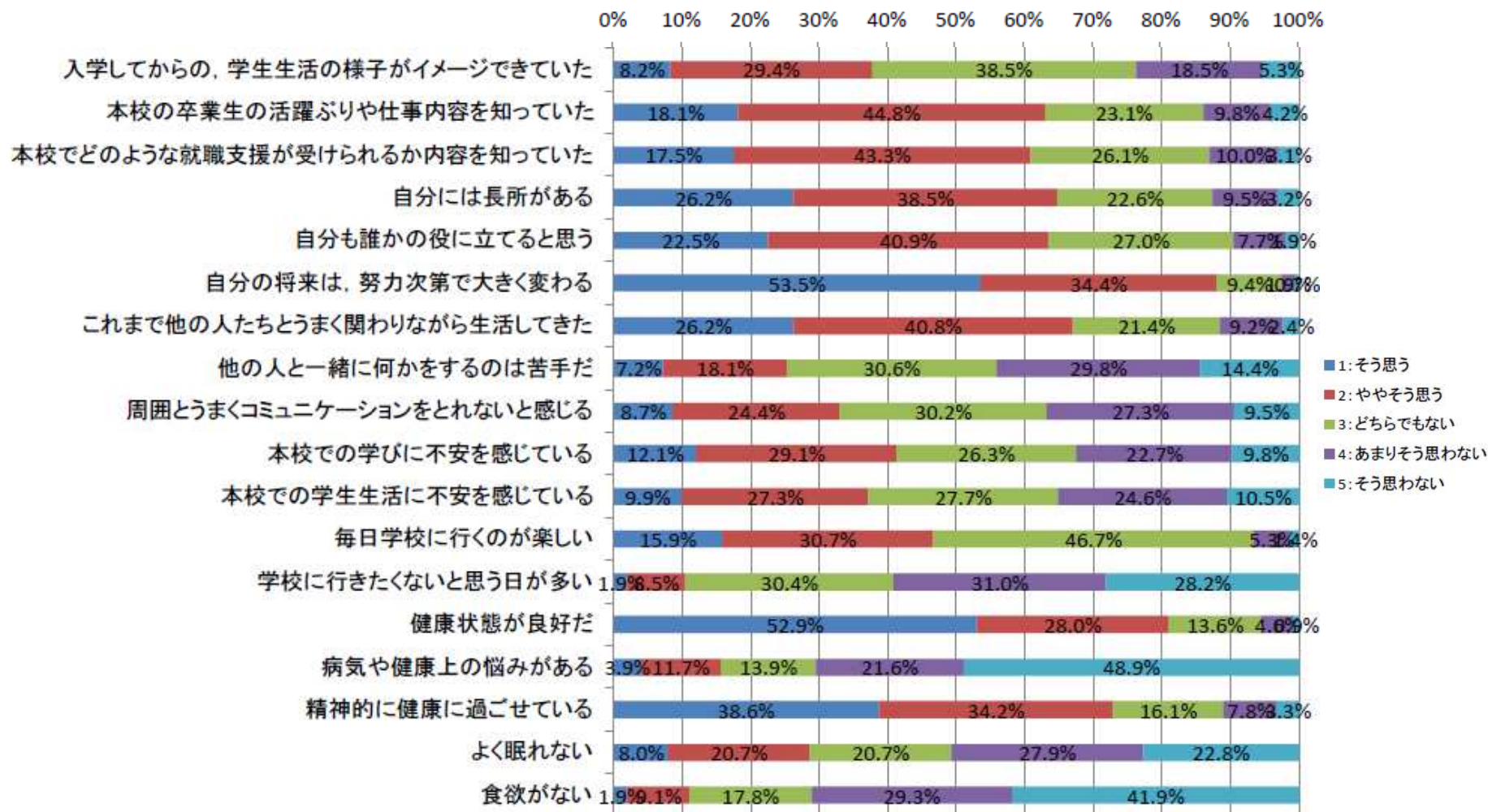


令和2年度 新入生対象アンケート(JEC Week)



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

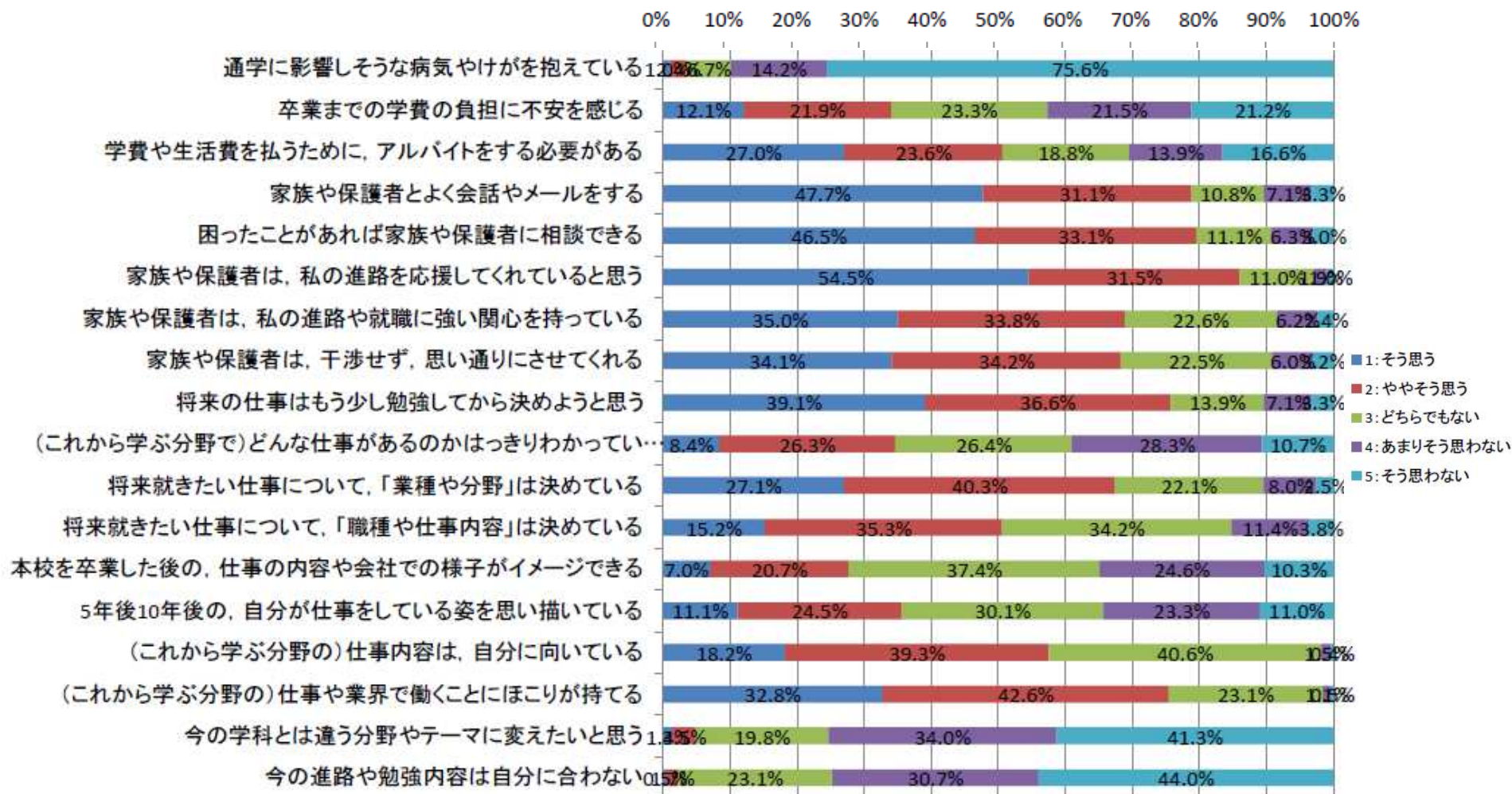


令和2年度 新入生対象アンケート(JEC Week)



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

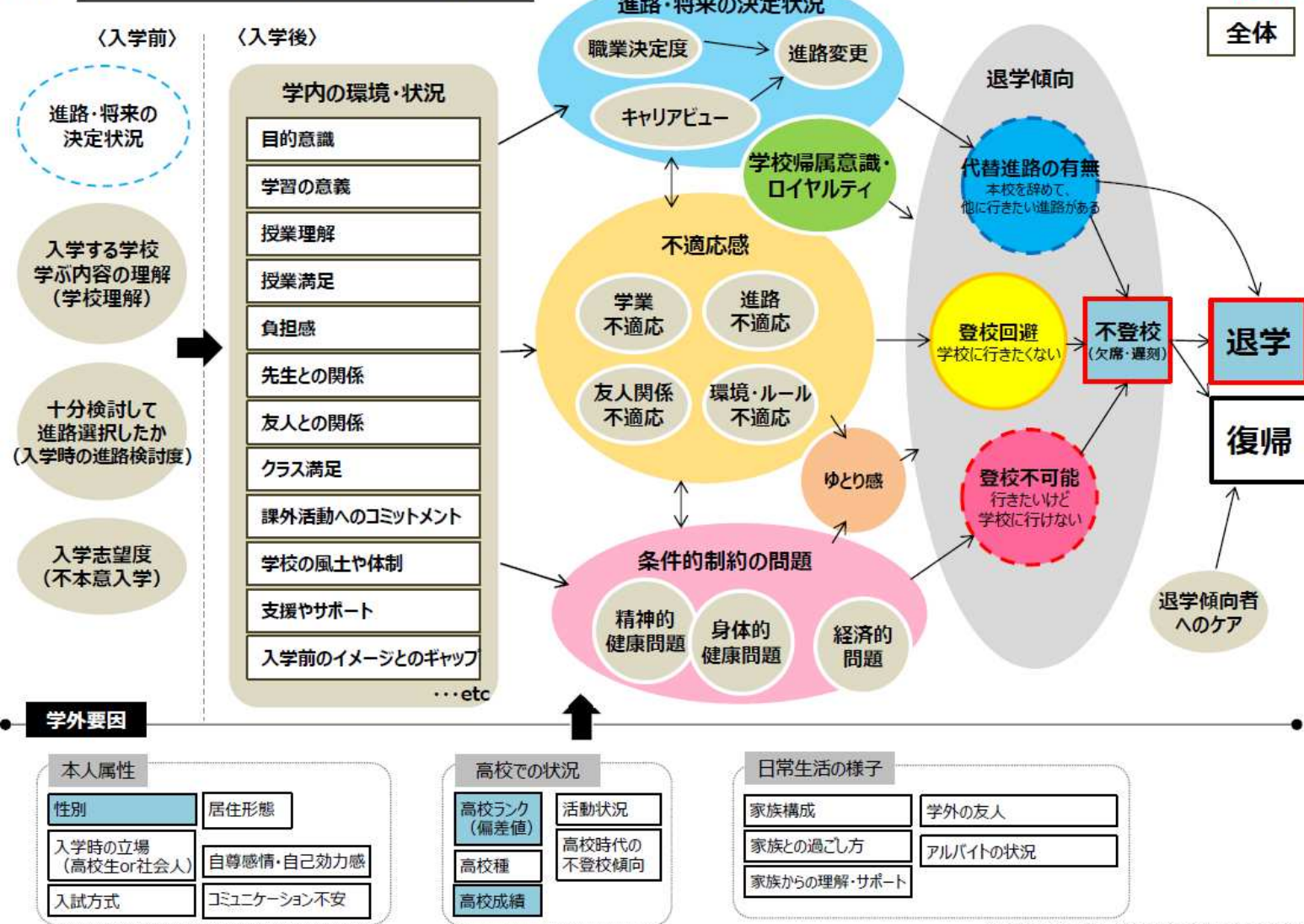


退学に至る要因モデル



A1 退学に至る要因モデル ver.1.2 2020.7.27

日本電子専門学校モデル 校外秘





③ 学生主導で社会人基礎力を養うキャリア教育の充実

学生自治会の運用



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

令和2年度 学生自治会メンバー 合計24名

(うち、新メンバー16名)

(うち、令和2年度 日本電子専門学校特別奨学生4名)

役 職	氏 名
委員長	オ ソヨン
副委員長	チェ ソンヒョク、水野瑞希、小松蓮
書 記	小川大輝、伊藤雅恵、森下真大(イベント兼任)
総 務	イム ヒジン、川田真哉、井上瑞貴、伊波絵莉花 鶴澤美咲、伊東佳汰、徐浩瀚、余俊穎、後藤耕太郎
イベント	渡邊莉愛奈、佐藤百合奈、イウンソ、大里陸、西村勇輝
ボランティア	李致潔
広 報	伊澤翠、高杉一輝

① 学生自治会 の適正運用

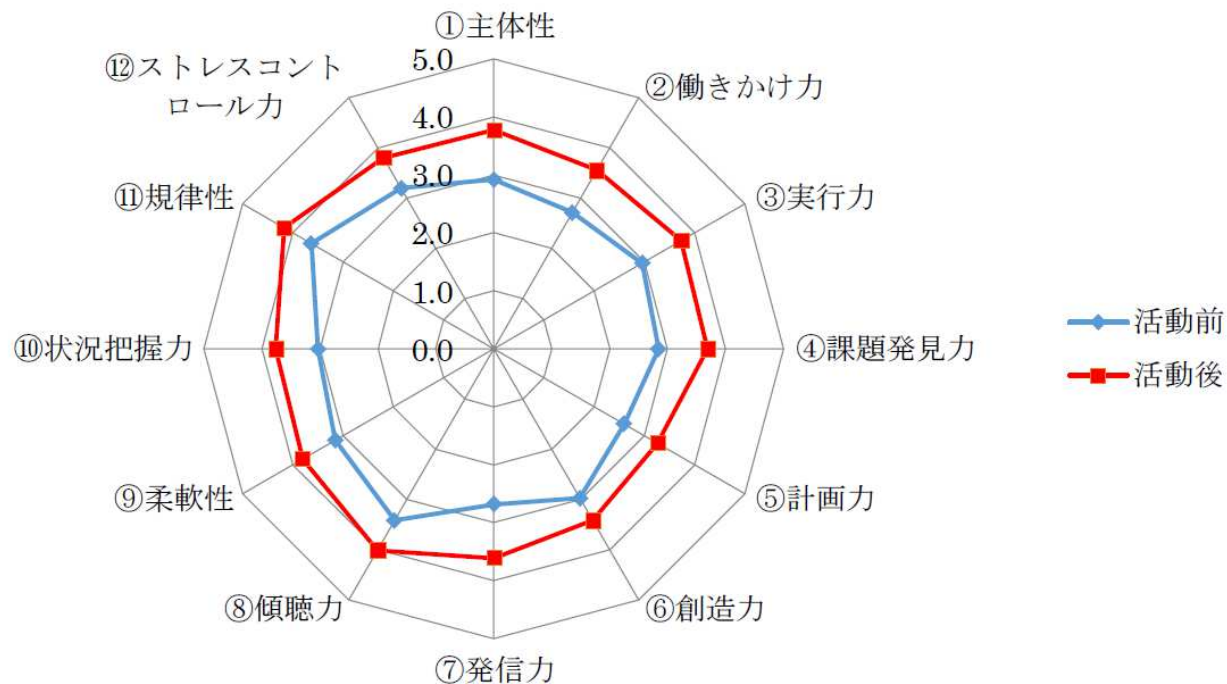
- 委員会活動を通じ、活動内容の検討・実施
- 学生自治会 と学校行事の在り方の検討
- 校長との意見交換会
- 朝の清掃・挨拶運動の実施
- 学生自治会のイベント企画





② 学生主体の学校行事の在り方の検討

- スポフェスにおける学生主体性向上の実践(中止)
- 日専祭における学生主体性向上の実践(実行委100名)
- 委員会活動を通じた社会人基礎力の向上



学生自治会の運用



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

③ 校長との意見交換 (令和2年8月25日実施)

日本電子の長所	入学前	親切で専門的な教員、アクセスがいい、高スペックの授業環境、放課後自習可能、午前試験免除、奨学金制度、多様な入学方法
	入学後	キャリアセンター、オープン実習、朝の挨拶(先生方)、設備が良い教室や空調設備、エレベーターなど楽できれいな環境、受付方々の対応が丁寧
改善点	コロナ対策	災害支援金(3万円)の増額、設備維持費の減額、フェイスシールドではなくマスクの支給、検温システム(各自⇒各校舎入り口)、対面授業選択制(対面とオンラインの併用)、対面授業日数を全学科共通化、オンライン授業のデータ形式の共通化、ポケットWi-Fiの返却、オンライン授業での顔出し選択
	入学前と異なる点	午前試験の免除、オープン実習の使用不可、使用不可能な設備がある、図書館の規模、教員の対応
	教員の対応	情報伝達をしてくれない、オープン実習の担当者がその場にはいない、担任としての責務を果たしていない
	その他	ポータルサイトの改善、使用可能教室の視覚化、Wi-Fi環境が弱い校舎がある、喫煙所の増設、クラブ活動、プリントが可能な環境が欲しい



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

④クリエイター教育の重点項目

クリエイター教育 部長 五十嵐 淳之



④ クリエイター教育



● 就職率内定の早期化

■ 前期取り組み

- 就職イベントのオンライン化
 - ポートフォリオ講評会の開催(アニメ分野)
 - クリエイター分野対象の合同企業説明会の開催
(キャリアセンター主催)
- キャリアセンター・科長・教育部長による就職対策会議

[中間報告]

- コロナ禍の影響により求人数・校内試験実施回数が減少
- 4・5月休校の影響で作品制作が停滞
→ 内定獲得者は減少(例年の6割程度)



● 就職率内定の早期化

■ 後期に向けて

- 多様な就職機会の提供
 - 合同企業説明会の追加開催（キャリアセンター主催）
 - 学科独自の企業説明会・採用試験の実施
 - インターネットを活用した就職活動の強化
 - 周辺分野、関連職種の求人情報提供
- 個別指導の更なる充実（対面・オンライン）



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

⑤エンジニア教育の重点項目

エンジニア教育 部長 大川 晃一



⑤ エンジニア教育



●教員のスキルアップ

■取り組み1

- 研修への参加促進
DXへの対応、Python等の新技術の教育課程への導入

[中間報告]

- コロナ禍の影響で多くの企業研修が中止・オンラインへ変更
- 本校の夏期研修期間も授業振替実施
- 研修受講件数 **27**件(昨年)→**10**件(本年)と大幅減
- 各研修業者の実施状況を注視しつつ、オンラインでも出来るところから取り組んでいきたい



● 教員のスキルアップ

■ 取り組み2

- 令和2年度エンジニア教育 新体制として、若手教員のテクニカルチーフへの昇格

12学科 11科長 2テクニカルチーフ



12学科 11科長 5テクニカルチーフ

- テクニカルチーフの育成

新任テクニカルチーフのフォローアップ => 勉強会の開催

[中間報告]

- 前期はオンライン授業対応で実施できず
- 後期にフォローアップを行う

・学科運用業務の偏りをなくす
・世代交代の促進



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

ご静聴、有難うございました。

コロナ禍に負けず、教育を継続してまいります。
引き続き、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

令和2年度 教育重点項目 前期実績報告
についての評価をお願いします。



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

意見交換



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

分科会について



企業・業界団体の委員の皆様は
全体会終了後、
各分野Zoomミーティングにご参加ください
(※ミーティングID等は事前に送付済)



長時間にわたる
「学校関係者評価委員会」
お疲れ様でした。